特典PDF ライブラリ簡易マニュアル



表データの読み書きや集計、分析を行えるライブラリ

インポートする

import pandas as pd

行データから、データフレームを作る

df = pd.DataFrame(data)

CSVファイル (UTF-8形式) を読み込む

df = pd.read csv("ファイル名.csv")

CSV ファイル (Shift-JIS 形式) を読み込む

df = pd.read_csv("ファイル名.csv", encoding="Shift_JIS")

CSVファイル(0列目がインデックス)を読み込む

df = pd.read csv("ファイル名.csv", index col=0)

CSV ファイル (ヘッダーがない) を読み込む

df = pd.read csv("ファイル名.csv", header=None)

列データを取り出す

df["列名"]

複数列データを取り出す

df[["列名", "列名"]]

行データを取り出す

df.loc[行番号]

複数行データを取り出す

df.loc[[行番号, 行番号]]

要素データを取り出す

df.loc[行番号]["列名"]

空のデータフレームを作る

df = pd.DataFrame()

列データを追加する

df["列名"] = ["要素1", "要素2"]

行データを追加する

df = df.append(["要素1", "要素2"])

列データを削除する

df = df.drop("列名", axis=1)

行データを削除する

df = df.drop("行名")

条件で列データを抽出(80以上の列データを抽出)

df = df[df["列名"] >= 80]

欠損値の個数

df = df.isnull().sum()

欠損値がひとつである行を削除

df = df.dropna()

指定した列で欠損値がある行を削除

df = df.dropna(subset=["列名"])

欠損値を平均値で埋める

df = df.fillna(df.mean())

欠損値をひとつ前の値で埋める

df = df.fillna(method='ffill')

欠損値を次の行の値で埋める

df = df.fillna(method='bfill')

重複データの個数

df = df.duplicated().value_counts()

重複データの2つ目以降を削除する

df = df.drop_duplicates()

文字列の列データを整数に変換する

df["列名"] = df["列名"].astype(int)

カンマ付き文字列の列データのカンマを削除する

df["列名"] = df["列名"].str.replace(",", ""))

列データの平均値を求める

df["列名"].mean()

各列データの平均値を求める

df.mean()

各列データの中央値を求める

df.median()

------各列データの最頻値を<u>求める</u>

df.mode()

列データの度数分布表を表示する

cut = pd.cut(df["列名"], bins=区切る範囲, right=False) cut.value_counts(sort=False)



数値計算や配列計算を効率的に行えるライブラリ

インポートする

import numpy as np

かたよりのないランダムな値を作る

np.random.randint(最小值,最大值,個数)

正規分布になるようなランダムな値を作る

np.random.normal(平均值,標準偏差,個数)



いろいろな種類のグラフを描画できるライブラリ

インポートする

import matplotlib.pyplot as plt

Jupyter Notebookのセルにグラフを表示させる

%matplotlib inline

列データのヒストグラムを表示する

df["列名"].plot.hist(bins=区切る範囲)

列データの棒グラフを表示する

df.plot.bar()

列データの折れ線グラフを表示する

df["列名"].plot()

列データの円グラフを表示する

df["列名"].plot.pie()

列データの円グラフを表示する(一般的な円グラフ)

df["列名"].plot.pie(startangle=90, counterclock=False, labeldistance=0.5)

散布図を表示する

df.plot.scatter(x="横軸の列名", y="縦軸の列名", c="色")

タイトルを表示する

plt.title("タイトル")

凡例の位置を指定する

plt.legend(loc="指定文字列")

表示位置	指定文字列	数値
ベストな位置	best	0
右上	upper right	1
左上	upper left	2
左下	lower left	3
右下	lower right	4
右	right	5
中央左	center left	6
中央右	lower center	7
中央下	lower center	8
中央上	upper center	9
ど真ん中	center	10

横軸の目盛りを置き換える

plt.xticks(置き換える目盛りのリスト, 目盛りのリスト)

縦軸の目盛りを置き換える

plt.yticks(置き換える目盛りのリスト, 目盛りのリスト)

横軸の最大値、最小値を指定する

plt.xlim([最小值,最大值])

縦軸の最大値、最小値を指定する

plt.ylim([最小值,最大值])



きれいなグラフが描けて、データ分析に便利な機能がついているライブラリ

インポートする

import seaborn as sns

matplotlib を使う前に指定する

とりあえず、きれいなグラフにする

sns.set()

フォントを指定してきれいなグラフにする

sns.set(font="フォント名"])

日本語フォントを指定してきれいなグラフにする

dsns.set(font=["Meiryo", "Yu Gothic", "Hiragino Maru Gothic Pro"])

スタイルを指定してきれいなグラフにする

sns.set(style="スタイル", font=["Meiryo", "Yu Gothic", "Hiragino Maru Gothic electric")

スタイル名	表示されるグラフ	
dark	暗い色	
darkgrid	暗い色で線あり	
white	白	
whitegrid	白で線あり	
ticks	目盛り付き	

列データの箱ひげ図を表示する

sns.boxplot(data=df, width=幅)

列データのヒストグラムを表示する(正規分布、推定カーブ付き)

sns.distplot(df["列名"], fit=norm, fit kws={"color":"色"})

散布図 + 回帰直線を表示する

sns.regplot(data=df, x="横列", y="縱列", line kws={"color":"色"})

ヒストグラム付き散布図 + 回帰直線を表示する

相関行列を色分けして表示する

sns.heatmap(df.corr())

散布図のすべての組み合わせを行列で表示する

sns.pairplot(data=df)

アヤメの品種データを読み込む

sns.load_dataset("iris")



高度な科学計算を行えるライブラリ

インポートする

from scipy.stats import norm

正規分布の累積分布関数:ある値が、下からどんな確率(0~1)なのか

cdf = norm.cdf(x=値, loc=平均値, scale=標準偏差)

正規分布のパーセント点関数:下からのある確率(0~1)の値はなにか

ppf = norm.ppf(q=パーセント値, loc=平均値, scale=標準偏差)